

平成18年度各会計予算を可決 予算総額821億9,687万6千円

一般会計は436億100万円で5.0%の増

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会とは、新年度予算が適正に編成され、健全で効率のよい財政運営が図られるかどうかを審査するために設置された委員会です。

なお、平成18年度各会計予算を審査した委員は次のとおりです。

委員長	染谷 司			
副委員長	鈴木 有			
委員	藤田 進	楠 井 克巳		
	竹内 美穂	中 井 洋子		
	中村 利久	小倉 良夫		
	植竹 健夫	木村たか子		
	勝田 実	小俣 文宣		
	添田ひろ子	藤井 正		
	大橋 広志			

平成18年度各会計予算については、15人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置。3月16日から3日間にわたり慎重に審査され、最終日の本会議において審議の結果、各会計予算は原案のとおり可決されました。

反対討論

■一般会計

歳入では、厳しい財政状況の中、予算編成に苦勞された職員に敬意を表するものの、財産の売り払い収入が多額となっており、周辺住民の声を十分に聞いた上で活用すべきである。

歳出の総務費では、市長交際費の使い方をホームページに公表し、透明性を確保するとともに、宿泊を伴う自治会長会議や舟運事業はやめるべきである。また、任期付職員では、守秘義務や公共の責任である専門性

平成18年度各会計予算規模

区 分	予 算 額	対前年度増減率
一 般 会 計	43,601,000千円	5.0%
特 別 会 計	国民健康保険	14,550,100千円 10.2%
	下水道事業	3,901,000千円 4.9%
	老人保健	9,473,400千円 △1.1%
	用地取得	102,500千円 △14.3%
	介護保険	5,286,300千円 9.7%
	次木親野井地特定区画整理事業	518,000千円 14.9%
	小 計	33,831,300千円 6.1%
水道事業会計	4,764,576千円	6.3%
合 計	82,196,876千円	5.5%

が果たせなくなる恐れがあるので、正職員を採用すべきである。

民生費では、難病見舞金に対前年度比で六四〇〇万円も削減されるとともに、福祉タクシー券の簡素化が拒否されている。また、四月から施行される障害者自立支援法の地域生活支援事業としてのメニューが全く検討されておらず、低所得者への負担軽減策の検討もされていない。さらに、児童虐待や人権問題などについて、県の中核支援センターと横断的な連携を図る方向性がなく不満である。

衛生費では、市民の健康

保持のため、骨密度検診を事業化すべきである。また、清掃工場は、メンテナンスをしていれば大丈夫だという安易な取り組みは問題である。

労働費では、障害者の職場実習を民間にアピールすべきである。

商工費では、消費生活センターの体制強化のため、人員をふやすべきである。

土木費では、生活道路の整備がおくれる中、清水公園トンネル道路等に莫大な財源を投入しており、優先性や緊急性を十分勘案して、

街路事業や区画整理事業などの財政支出のあり方を見

直す必要がある。また、イトーヨーカ堂跡地の売却先が決まらなければ、用地が塩漬けとなりかねない。

教育費では、年間の授業時間内における副教本の活用について、検証されているのか不明である。

■国民健康保険特別会計

制度自体に問題があり、抜本的改革が必要であるとともに、独自の減免制度を確立していない。

■下水道事業特別会計

汚水処理施設として地域に合わせた推進も必要であり、下水道施策だけを進めていくことに反対である。

■介護保険特別会計

制度の改正で保険料が大幅に引き上げられているにもかかわらず、低所得者対策として独自の減免制度をつくらないので反対である。

■次木親野井特定地区画整理事業特別会計
早急に保留地処分に対応策を求める。

賛成討論

■一般会計

歳入では、一般財源の確



平井榮一議員逝去

平井榮一議員(下三ヶ尾六十七番地)が、平成十八年二月六日午前八時二十二分、病氣のため逝去されました。享年七十一歳。

平井議員は、昭和五十七年五月に市議会議員に初当選以来二十三年九月、市議会議長を初め、水道事業運営審議会、野田市・関宿町合併協議会、農業公社

設立検討委員会、消防委員会、都市計画審議会の各委員などを歴任され、野田市発展のために尽くされました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

保が厳しい中、予算総額四三六億一〇〇万円と対前年度比で五%増となっているとともに、市債発行もプライマリーバランスを黒字化するための起債上限を下回り、財政規律が保たれている。

歳出の総務費では、(仮称)市営交番等防犯活動支援事業、住居表示板整備費、まめバスのルート延伸に伴うコミュニティバス運行委託料やバス停留所スツール設置工事費などが計上されている。

民生費では、新エンゼルプラン関連として、育児支援家庭訪問事業や子育て支援促進事業費が新規事業として計上されているほか、第二福祉ゾーンに建設を計画している重症心身障害児施設に関する事業化検討委員会の費用、みずき学童保育所の新築移転費用などが計上されている。

衛生費では、健康づくり推進事業やウオーキングマップ作成費、斎場の指定管理料が計上されるとともに、新不燃物処理施設建設に向けての基本計画策定費が計上されている。

農林水産業費では、江川地区の自然環境保護対策計画の一環として、農業生産法人による自然環境保護の強化策が図られることを評価する。

土木費では、阿部沼第一排水区六丁四反水路改修費など、排水整備が対前年度で約三倍増で措置されている。また、まちづくり交付金事業を活用した道路改良事業や合併関連事業としての江戸川左岸連絡道路を初めとする生活道路整備費等が

6月定例会日程

ー6月14日(水)に開会の予定ですー

次会日程については、市議会議員選挙後に開催される議会運営委員会において決定されます。

なお、市議会ホームページにも掲載してありますので、ご利用ください。

<http://www.gikai-nodacity.jp>

日 程	会議予定時刻	会議予定	主な会議内容
6月14日(水)	午後1時	本会議 (開会)	会期の決定、議案上程、市政一般報告
20日(火)	午後1時	本会議	議案質疑、委員会付託
21日(水)	午前10時	本会議	一般質問
22日(木)			
23日(金)			
26日(月)	未 定	常任委員会	各議案の審査
27日(火)			
30日(金)	午後1時	本会議 (閉会)	委員長報告、質疑、討論、採決

計上されており、市民生活に密着した予算計上となっている。さらに、各駅前整備や鉄道高架事業及び生活道路の改良に合併特例債やまちづくり交付金が有効活用されるとともに、適切に配分され、市民生活の利便性が図られている。

消防費では、AED(自動体外式除細動器)や訓練器購入費が計上されるとともに

に、水槽付消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車の更新費用が計上され、体制の充実強化が図られている。また国民保護計画作成費、洪水ハザードマップ作成費用が計上されている。

教育費では、合併関連事業として柳沢小学校耐震補強工事、小学校のトイレ改修事業費、中学校の保健室

エアコン設置事業費が計上されている。また、新たに体育館の耐震診断の費用が計上されるとともに、旧関宿小学校跡地の整備費用及びスケートボードパーク整備費が計上されている。

会計

それぞれの会計の目的に沿って適切な予算措置がなされている。

■各特別会計及び水道事業